

情報工学科			英語コミュニケーションB				
学年	第5学年	担当教員名	峯 弘				
単位数・期間		1単位	後期	週当りの開講回数	1回	選択	学修単位3
授業の目標と概要		1. 世界の人(外国人)と世界語としての英語でコミュニケーションする能力を培うこと、即ち、自分を英語で表現する(話すノ書く)、そして外国人を理解する(聞くノ読む)能力を培うこと。 2. 様々な外国人に親しみ、他国の文化を知り、国際感覚を身につけること。					
		釧路高専目標	F:100%	JABEE目標	f		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		1. 人を愛する心を持つ。(コミュニケーションの土台) 2. 恥ずかしがる気持ちを側に置き、素直な心で授業に臨もう。					
到達目標		1. 自分の精神の中で英語を組み立て、流れを作り、表現される状態にしていくことによって、的確に英語でコミュニケーションができる。 2. 様々な国の人々の多様な価値観を理解することで、国際人としての態度を身につけることができる。					
成績評価方法		4回の定期試験の平均点を成績とする。ただし、その平均点が60点を超過している場合には、最大10点の範囲内で、授業態度による評価を加算または減算して、総合評価点とする。					
テキスト・参考書		1. 「英会話」に関連する自主教材(プリント) 2. 映画等の映像教材					
メッセージ		「英語を使ってこういうことをしたい」という夢を心に描き持続すると、それはやがて実現する。					
授 業 内 容							
授業項目			授業項目ごとの達成目標				
前期中間試験							
前期期末試験							
1. コミュニケーションを深める。会話を弾ませる。 2. 外国人との対話したり、映画を鑑賞する。 * 毎時間、1と2を平行して行う。(9回)			深い内容で外国人との対話ができるようになる。 速やかにコミュニケーションが図れるようになる。				
後期中間試験			実施する				
1. 外国人との対話を深める。 2. 作文力を養う(自分の人生ノ生活を英語で書く。) * 毎時間、1と2を平行して行う。(6回)			外国人と自然に対話できるようになり、親交を深めることができるようになる。 自分の生活ノ人生を英語で作文することができる。				
後期期末試験			実施する				